

AIAA ICSSC 2015 Conference at Gold Coast の計画と実行に参加して

JFSC会員
編集特別顧問
北爪 進

September 7 to 12 2015, QT Gold Coast Hotel at Gold Coast, Australia にて開催されたAIAA ICSSC 2015 Colloquium & Conference 及び前日のSeptember 6, 18 時より開催されたAIAA ICSSC CMSTCにJFSC福地会長と共に参加した。またAward Dinner のSponsor としてJepicoを代表してSponsors Announcement を行うとともに、Conference Session Chair としてTwo Sessionの運営を実施したので、その概要を報告します。

1. AIAA ICSSC CMSTC

本件TC 委員長Dr. Sakaryaの司会のもとMeeting Agenda に沿って進行された。今回のAIAA ICSSC 2015はAIAA CMSTC, JFSC, EMSの共同開催の形式となっており、一般的Conference参加目的の他に共同開催者としての責務の検証も行った。この会議に備え、ICSSC2015の共催者であるAustralia BrisbaneにあるEM Solutions の代表Dr. Rowan Gilmoreと事前打ち合わせを実施して、意思合わせを行い、当日のCMSTCに参加し意見を述べた。概要は以下の通りです。



Fig 1-1 AIAA ICSSC TC Member 合同会議

2. AIAA ICSSC 2015 Conference

- ・開催期日: 2015年9月7日(月)~10日(木)
- ・場所: QT Gold Coast Hotel, QT Gold Coast 7 Staghorn Ave, Gold Coast, Queensland, Australia
- ・共催: AIAA CMSTC, JFSC, EM Solutions
- ・参加登録者: 137名、国別参加者Australia 77名, Japan 32名, USA 14名, China 6名, French, Malaysia

各2名、UK、独、Netherland、韓国各1名の参加であった。内でもAIAA会員の主体であるUSAからの参加が少なく、AIAA CMSTCの協力が期待はずれであったことが残念であった。計画ではAustraliaはAIAA会員が少なく多くを期待出来ないと想定して、主に非会員の参加者となるが多くを期待してもせいぜい50名程度が予想されたので、海外からのAIAA会員の参加とりわけ米国からのAIAA会員の参加に多くを期待していたが、逆の結果となってしまったことは残念であった。

- ・Sponsorship: 経費対参加費収入が損失となる可能性が高かったのでSponsorshipによってその差額をカバーする計画で各国の協力をお願いした結果、SSL, Optus, Inmarsat, JSAT, JEPICOなどより4万ドル超の協力が得られた。

2-1: AIAA ICSSC 2015 Colloquium and Conference

今回のプログラムはColloquiumが初日の9月7日、Conferenceが翌日8、9日の開催、4日目がBusiness dayとなった。初日のColloquiumは、登録参加者数45人、Speakerを含めた総参加者60名、Conference登録参加者数137名であった。またICSSC論文数は、28 Session, 82論文の発表であった。その中にはOcean B.B.の3論文の発表が含まれている。Conference Opening & Welcome Sessionは会場のQT Pipeline Roomにて挙行された。



Fig2-1: Opening Session Dr. Rowan Gilmore General Chair of AIAA ICSSC2015

General ChairのOpening Remark (Fig2-1)に引き続き、Mr. Mark Dankberg, Chairman & CEO, ViaSat Inc.、Mr. Paul Sheridan, Vice President, Optus Satellite, Dr. Naoto Kadowaki, Senior Executive Director, NICTの3人のKeynote Speechが挙行された。Fig2-2, Fig2-3にその状況を掲載します。



Fig 2-2: Keynote Speech, Dr. Kadowaki: Deputy Conference General Chair



Fig2-3: Keynote Speech, Mr. Mark Dankberg, Chairman & CEO, ViaSat Inc.

2-2: ベスト論文賞

ICSSC 2015のベスト論文賞は、多数ある論文の中で論文No. AIAA-2015-4334: *Specially Superposed Highly Efficient 32APSK Transmission System* by Dr. Masayoshi Tanaka(日大電子・電気工学部教授)が選出された。学会2日目の9月8日18時30分より、QT Long Beach Roomで行われたAward Dinnerにて表彰式が行われた。表彰状を手にした当人の写真をFig2-4に添付する。Dr. Tanakaのmail addressはtanaka.masayoshi@nihon-u.ac.jpである。論文賞の選定に当たっては日豪の論文審査委員会で同一の審査基準を設定して、日豪独立で各Session Chairが1次審査を実施した結果を論文委員会で集計審査し、最終結論を出し選定された。



Fig 2-4 Best論文賞受賞者



Fig 2-5: Session Chair, Dr. M. Toyoshima

Conferenceの運営に関して日本からの貢献は、JFSCを始めとするOcean B.B. Chaired by Dr. Toyoshima を始め Conference 23 Session中8 SessionのChairを務め、18件の技術論文の発表を行うことでConferenceの構成と運営に大きく貢献した。

3. Session会場

Session会場としてはQT Hotel内の隣接するConference Roomを各Sessionに割り当て準備されていた。研究論文発表はPoint Break, Diamond Head, Long beach, Sunsetの4 RoomsにてSession Chairの司会のもと並行に挙行された。Sunset Roomでの講演風景をFig 3-1に掲載します。



Fig 3-1 Session会場 Sunset Room

4. AIAA ICSSC 2015準備期間のこと

AIAA ICSSCは米国の航空宇宙関連学会の集まりであり、その中の国際通信衛星システムコンファレンスとして長く米国内で活動されていたが1998年初めて米国以外の国で開催された。それが17th AIAA ICSSCであり日本の横浜で開催された。それ以後4年に一度日本が中心となってアジア地区にて開催することとなった。今回で4回目である。

開催に先立ちイタリアで開催されたKa-Band Conferenceの会場にて、coffee break中に関係者が集まり協議し、オーストラリアでの開催が総意となった。初期に於いてはシドニー開催が皆さんの念頭にあったが、General Chairとして想定された教授の同意が明確にならず、時間が過ぎて行き、AIAA TCでも早期の決定を要請してくるようになった為、当時Ocean B.B.を共同開発していたEM Solutionsに協力を要請し、同社のCEOであるDr. Rowan GilmoreにGeneral Chairを要請した。本件シドニー大学の先生を推薦していたNICT門脇執行役員の了承を得て前進することとなった。

5. 総括と次回準備

AIAA ICSSCのオーストラリアでの開催はAIAAの歴史のなかでも初めてであり、論文や参加者がどの程度集まるか危惧されていた。計画は3年前に作成され準備を開始したが、General Chairが決まらず時間のみ経過していった。その中でも果たして論文や参加者数が大会開催できる程度に集まるか心配された。ある時点では“2015年7月時点で中止の判断もあり得る”との前提にたつて準備が進められた。また経済的に成立するかも危ぶまれた。結果的には参加者はオーストラリア77名、日本32名、USA 14名、中国6名、フランス2名、マレーシア2名、英国、独国、仏国、オランダ、韓国各1名、合計137名であった。

また経理面では、初期において会場及び参加者宿泊ホテルルーム確保のための予約金等Startup Costの準備等解決すべき事項が多々あったが、JFSCとEM Solutionsが協力し解決にあたった。後刻Lesson Learnを開催し、次回開催の参考事項を討議した。 ■

参考文献

- 1) Japan Forum on Satellite Communications, JFSC August 2014 and AIAA ICSSC 2015 Planning
- 2) Call for Papers, 33rd AIAA ICSSC Conference and Exhibition (ICSSC-2015)